

成道館通信

第143号 平成25年6月



広島市立広島中等教育学校

公立併設型中高一貫教育校の広島市立安佐北中学校・高等学校は、平成26年度入学生より広島市立広島中等教育学校（通称「市立広島」「市広（いちひろ）」）に生まれ変わります。

カリキュラムの特色

- ・高校入試の影響を受けない、無駄の無い6年間一貫したカリキュラム
- ・前期課程（中学校相当）で210時間英語関連の授業の増加
- ・前期課程で国語・数学・理科の高校内容の科目を前倒し履修（他教科も6年間一貫教育させるよう内容を工夫）
- ・ER（Extensive Reading:英語多読）の導入
- ・伝統文化・異文化理解・リーダーシップ・コミュニケーションスキルを学ぶ「学びと品格」
- ・徹底した少人数指導
- ・習熟度別授業の導入（一部教科科目）
- ・高学年ではゼミ形式の探求的学習の導入
- ・難関国立大学をめざす「特進クラス（Ⅱ類）」の設置（5・6年生）

平成26年度入学者選抜情報

1. 入学定員
120名を予定しています。
平成25年度までの安佐北中学校の入学定員よりも40名増加しました。
2. 通学区域・出願資格
通学区域広島市全域
保護者の住所が広島市内全域にあること
ただし、定員の30%（36名）以内で、広島市外からの入学を認めます。従って、広島市内に保護者の住所が無い場合でも入学が可能です。

安佐北高校の大学合格実績

難関国立大学合格7名 国公立大学39名
京都大学1名 大阪大学1名 北海道大学1名 東北大学1名 神戸大学1名
九州大学2名 広島大学9名 岡山大学1名 山口大学2名 県立広島大学1名
広島市立大学1名 早稲田大学1名 慶応大学1名 同志社大学5名 立命館大学13名
関西学院大学1名 関西大学3名 他

小学英語の教科化について

教育再生実行会議が小学校で英語を正式に教科とする提言を安部首相に提出した。いよいよ本格的に英語が小学校で教えられることになるのだろうが、これから教科書や教師の問題、他の教科との授業時間の問題などクリアしていかなくてはならないことが多くある。特に教師の問題は大きい。小学生全員に英語を本格的に教えるのは中学生に教えるよりも難しい。教師の指導技術向上は不可欠。ネイティブをたくさん配置すればいいというものではない。小学生の国語力向上も、これまで以上に力を入れなくてはならない。母国語の教育のほうがもっと大事。今までのようなお遊びの英語の時間ならやめるべきだと思っていたので、やるのなら本格的にやればいい。ただし、小学校から全員に英語をする必要はないと思っている。小学校で英語を教科としてやるのは私国立のエリート校か公立の一部の学校だけでいい。

もうひとつ 高校授業料無償化について

下村博文文部科学相は、高校授業料無償化に所得制限を設ける際の基準額について、年収800万～900万円を一つの案として検討していることを明らかにした。早ければ平成26年度からの実施を目指すらしい。どうせなら所得制限なしに高校授業料無償化したらいい。先進国のほとんどが高校授業料無償化。年収で差をつけるのは賛成しない。年収750万で3人家族と、年収950万で7人家族ではどちらが家族に金がかかるかね。また、年収が低くても莫大な資産がある人もいるかもしれない。もっといろんな例が考えられるが省略する。ここは先進諸外国にならい、ぜひ所得制限なしの高校無償化を。

センター試験

来年のセンター試験は1月18、19日に実施。出願期間は10月1～11日。検定料は3教科以上が1万8千円、2教科以下が1万2千円。

学校へ行こう！ 安古市高校

日時：6月22日（土） 10:00～14:00
対象：中学1・2・3年生の生徒・保護者
申し込み お急ぎください！

ホームページ やっとできました。

<http://seidoukan.net/>

保護者の声・塾生（元塾生）の声募集中

6月の予定

月 日	曜日	行事予定
6/22	土	学校へ行こう！安古市高校
6/23	日	中間試験対策

